

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公立保育所保育環境整備事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	浅水 透			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公立保育所（5か所）の利用者	意図	老朽化した公立保育所の備品を更新することにより、私立保育所との保育環境の格差解消を図り、安心安全な保育の充実にを図る。
事業内容	老朽化した公立保育所の備品を更新することにより、子育て環境の整備を推進し、安心安全な保育の充実にを図る。			
事業開始から現在までの状況変化	公立保育所の備品（椅子、机、オルガン）の更新を平成28年度から2年間として実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	備品更新保育所		3	2	
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

平成28年度3箇所、平成29年度2箇所と2カ年に分けて、椅子、机、オルガンの備品を更新した。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成29年度は、江戸川台保育所、平和台保育所の備品を更新。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		13,349,275	12,630,491
事業費(b)(円)		13,349,275	12,630,491
うち一般財源		13,349,275	12,630,491
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	備品（机、椅子）の製造に時間を要するため、入札を年度当初に実施し、納入日を出来るだけ早める。	③取組の課題	備品（机、椅子）については、消耗品であるため、今後は適切な時期に更新する必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	入札を年度当初に実施し、7月に納入することが出来た。	④今後(H30以降)の改善計画	平成29年度で事業終了